

目 次

第 20 号 2012 年 6 月

研究ノート

- 陽電子消滅法によるアルミニウム合金中の原子空孔挙動観察
..... 井上耕治, 白井泰治...3
- 機能性 π 共役系分子の直接的多重アリール化..... 依光英樹, 大須賀篤弘...9
- High Pressure Inductive Measurements using Anvil Cells Swee K. Goh ...18

特 集

- 2011年度低温物質科学研究センター研究交流会開催報告..... 佐々木豊...24
- 発表要旨集より..... 27

センターセミナー報告.....58

運営委員会より

- 寒剤供給状況 吉田キャンパス・宇治キャンパス・桂キャンパス..... 59
- 寒剤供給関係業務担当者, ヘリウムガス回収中継所責任者 61
- 専任教員, 協議員, 運営委員..... 62

投稿案内.....64

編集後記.....65

Table of Contents

Research Reports

Behavior of vacancies in aluminum alloys observed by positron annihilation spectroscopy
..... K. Inoue and Y. Shirai ...3

Direct Multiple Arylation of Functional Aromatics..... H. Yorimitsu and A. Osuka...9

High Pressure Inductive Measurements using Anvil Cells
..... Swee K. Goh ...18

Featuring Article

Report on LTM Center Exchange Meeting 2011..... Y.Sasaki...24

LTM Center Seminars.....58

From Organizing Committee

Amounts of Cryogen Consumptions : Yoshida Campus, Uji Campus and Katsura Campus..... 59

Staffs Contributing to Cryogen Supply and Responsible Persons for He Gas Recovery Stations.....61

Research Staffs of the LTM Center, Member of the Committees : Steering Committee and
Organizing Committee.....62

Call for Manuscript..... 64

Editor's Note..... 65

低温実験に携わる者にとって、液体ヘリウムの安定供給は死活問題に直結する非常に重要な問題ですが、LTMセンターのしっかりした供給体制により、ほぼ心配することなく実験ができており、この編集後記執筆の機会を借りてユーザーの一人として感謝したいと思います。また発注のオンライン化や科研費による支払いなど、一昔前のことを思うとずいぶんと便利になってきていると実感しております。

このような利便性の向上に伴い、液体ヘリウムに対する取り扱いがややもするとおろそかになってしまいがちではないか、と思うときがあります。私が若い頃は「ヘリウムの一滴は血の一滴」と思えとよく言われましたが、貴重な資源を扱っていることを再認識していきたいと考えています。定期的に発行されているLTMセンター誌が、このことを思い出すいい機会になれば幸いです。

T. S.

京都大学 低温物質科学研究センター誌

Low Temperature and Materials Sciences

(Kyoto University)

第20号 2012年6月 Volume 20, June 2012

編集委員会：寺嶋 孝仁（編集委員長）、前川 覚、
矢持 秀起、石田 憲二、中村 裕之、
芝内 孝禎、藤原 直樹、前里 光彦

事務局：〒606-8501京都市左京区吉田本町
京都大学 低温物質科学研究センター

Tel:075-753-9521 Fax:075-753-9521

E-mail: terashim@scl.kyoto-u.ac.jp(寺嶋孝仁)

印刷：創文堂印刷